

今月の訪問リハ取り組み紹介

<きっかけ>

慢性閉塞性肺疾患・心不全により在宅酸素が必要、ベッド上で寝たきりに。動作中のめまい・息苦しさから起き上がりや座位保持も介助が必要でした。ご本人の「楽に動けるようになりたい」という思いから、訪問リハビリ開始へ。

ご本人の希望 「楽に動きたい」「トイレで排泄したい」

目標設定 排泄動作が出来るようにしっかり立つことが出来る。

～ リハビリプログラム ～

週2回・1回60分

<呼吸訓練、呼吸介助>

⇒動作時の息苦しさを軽減！

<筋力訓練・立ち上がり・バランス訓練>

⇒立位でズボンの上げ下ろしを行う為  
耐久性・安定性を向上！



← “吐く”を意識して呼吸訓練しています



呼吸がし易くなる様、  
胸郭の動きを誘導

※事業所内研修の様子

現在は、ご自分でポータブルトイレへ排泄出来ています！



～ ポータブルトイレの設置 ～

楽に・安全に排泄動作が出来る環境が必要！ケアマネさんや福祉業者の方、ご本人ご家族と共に、便座高さや柵の位置等を設置。動作確認をしました。

次の目標は自宅トイレまで歩いて行く！！歩行練習も始まっています！

～ 担当ケアマネさんより一言メッセージ頂戴しました～

退院時は寝たきり状態でストレッチャーでの帰宅でした。ご本人の「リハビリをして少しでも動けるようになりたい」という思いに対して、訪問リハビリや各事業所の皆さんと共に、情報交換、連携しながらご本人の目標に対して一緒に同じ方向を向いて対応してくれたからだと思いを感謝しています。今後とも、よろしくお願いします。